

2022年度愛泉幼稚園「保育内容等の自己評価」報告

総論

2008（平成 20）年 3 月に告示された保育所保育指針において、「保育の内容等の自己評価」として、保育士等は自らの保育実践を評価するよう努めること、またこれを踏まえて保育所は保育の内容等について自ら評価を行い、その結果の公表に努めることが示されたことなどを受けて、2009（平成 21）年 3 月に各保育所等で自己評価を行う際のガイドラインが示された。その後「振り返りを通じた質の確保・向上」が今後の具体的な検討課題の一つに位置づけられたことを受け、2020（令和 2）年 3 月にこのガイドラインの改訂が行われている。そこで、社会福祉法人愛の泉愛泉幼稚園では、2021 年度より自己評価についての準備を開始し、2022 年度より、自己評価を実施し、その結果を公表することとした。

また、愛泉幼稚園では、2022 年度は、保育事業についての第三者評価サービスも利用しているため、その結果も法人ホームページ、また埼玉県ホームページに公表される。

今後は、自己評価を毎年度行うこととし、第三者評価サービスを利用する年度については、そちらのみを行い、公表することとしたい。

2022 年 1 月

社会福祉法人愛の泉
保育所 愛泉幼稚園
施設長 深井智朗

I. 2022年度 愛泉幼稚園「保育内容等の自己評価」のためのチェックリスト集計表

2022年12月28日までに全職員（産休、育休の職員、休職中の職員、ハウスキーパー、午睡支援の職員等は除く）にチェックリストを配布し、2023年1月10日を締切日として行った「保育内容等の自己評価」の結果は以下の通りである。回答は、該当職員数36名全員から得た。なおチェックリストは記名の上、提出を求めた。

1 保育の理念・保育観

1-1 あなたは、すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか。

項目該当者 36名

よく出来ている 19名、 ほぼ出来ている 17名、 努力が必要 0名

1-2 児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保障することが保育園の必要な使命だと理解していますか。

項目該当者 35名

よく出来ている 14名、 ほぼ出来ている 21名、 努力が必要 0名

1-3 あなたは、日頃から「保育所保育指針」をよく読み、その理念を理解したうえで、保育内容や保育方法を考えるときのガイドラインとしていますか。

項目該当者 32名

よく出来ている 1名、 ほぼ出来ている 17名、 努力が必要 14名

1-4 あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識して保育していますか。

項目該当者 35名

よく出来ている 15名、 ほぼ出来ている 18名、 努力が必要 2名

1-5 あなたは、保育所保育は養護と教育が一体となっていて行われている、ということを意識して保育していますか。

項目該当者 35名

よく出来ている 18名、 ほぼ出来ている 16名、 努力が必要 1名

1-6 今日の保育園には、入園している子どもの保育だけでなく、ひろく地域の子育て支援をする社会的役割があることを認識していますか。

項目該当者 36名

よく出来ている 14名、 ほぼ出来ている 19名、 努力が必要 3名

1-7 あなたは、子どもに、文化や生活習慣、考え方が多様であることを知らせ、それらを尊重する心を育てるよう努めていますか。

項目該当者 35名

よく出来ている 10名、 ほぼ出来ている 17名、 努力が必要 18名

1-8 子どもの性差や個人差にも留意しながら、固定的な性別役割分業意識を植え付けることのないように配慮していますか。

項目該当者 36名

よく出来ている 11名、 ほぼ出来ている 22名、 努力が必要 3名

1-9 あなたは、日頃から、子どもに身体的苦痛を与えたり、人格を辱めるなど精神的苦痛を与えることがないようにしていますか。

項目該当者 36名

よく出来ている 21名、 ほぼ出来ている 15名、 努力が必要 0名

1-10 あなたは、個人情報の保護に配慮し、子どもやその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか。

項目該当者 35名

よく出来ている 24名、 ほぼ出来ている 11名、 努力が必要 0名

1-11 あなたは、「子ども・子育て応援プラン」に、若者の就労支援や男性の子育て参加等が盛り込まれていることを知っていますか。

項目該当者 35名

よく出来ている 3名、 ほぼ出来ている 20名、 努力が必要 12名

1-12 様々な特徴（障害）を持つ子ども持たない子ども、一人ひとりのありのままの姿を受けとめ、地域のすべての子どもが健やかに成長することを願って保育をしていますか。

項目該当者 35名

よく出来ている 20名、 ほぼ出来ている 13名、 努力が必要 2名

1-13 育児の考え方について、保護者とあなたが食い違っているとき、先ず相手の気持ちを受けとめ、話し合い、その保護者の立場や考え方を理解するよう努めていますか。

項目該当者 29名

よく出来ている 8名、 ほぼ出来ている 18名、 努力が必要 3名

1-14 子どもの家庭状況は多様だという考えの上で、今、その子に何が必要かを見極め、それぞれにとって適切な援助をしていますか。

項目該当者 34名

よく出来ている 8名、 ほぼ出来ている 22名、 努力が必要 4名

1-15 子どもが熱中しているときは、その時の保育の内容や流れに変更が生じて、危険のない限りその活動を見守るなどの柔軟性を持っていますか。

項目該当者 36名

よく出来ている 6名、 ほぼ出来ている 23名、 努力が必要 7名

1-16 あなたは、子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことの重要性を理解し、楽しんでいきますか。

項目該当者 33名

よく出来ている 17名、 ほぼ出来ている 12名、 努力が必要 4名

1-17 あなたは、一人ひとりの子どもに目が行き届いていたか振り返り、これからの保育の課題を見つけることができますか。

項目該当者 34名

よく出来ている 4名、 ほぼ出来ている 24名、 努力が必要 6名

2 保育の内容

1) 保育計画・保育指導

2-1 あなたは、指導計画を作成するとき、「保育所保育指針」を読み、参考にしていますか。

項目該当者 16名

よく出来ている 2名、 ほぼ出来ている 4名、 努力が必要 10名

2-2 あなたは、保育園の方針である保育計画をもとにして、指導計画を作成していますか。

項目該当者 15名

よく出来ている 2名、 ほぼ出来ている 3名、 努力が必要 10名

2-3 保育には指導計画（年・月・週・日案など）の作成という、あらかじめ見通しを持った計画性が必要だと思いますか。

項目該当者 18名

よく出来ている 8名、 ほぼ出来ている 5名、 努力が必要 5名

2-4 あなたの月・週案などには、教育的側面（五領域の視点）だけでなく、養護的側面（基礎的事項）もしっかりと盛り込まれていますか。

項目該当者 16名

よく出来ている 1名、 ほぼ出来ている 5名、 努力が必要 10名

2-5 あなたは、指導計画を作成するときに、地域の実態や保護者の意向・希望などを考慮していますか。

項目該当者 16名

よく出来ている 1名、 ほぼ出来ている 5名、 努力が必要 10名

2-6 子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象の実態を把握して、月・週・日案などを作成していますか。

項目該当者 17名

よく出来ている 2名、 ほぼ出来ている 13名、 努力が必要 2名
 2-7 あなたの月・週・日案などには、子どもの意欲を誘う環境構成が十分工夫されていますか。

項目該当者 16名

よく出来ている 2名、 ほぼ出来ている 9名、 努力が必要 5名

2-8 複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で、月・週・日案などを立てていますか。

項目該当者 19名

よく出来ている 0名、 ほぼ出来ている 9名、 努力が必要 10名

2-9 園の保育理念や方針・目標、あなたの作成した年・月・週・日案などのねらいや内容を、保護者に分かるように説明できますか。

項目該当者 16名

よく出来ている 2名、 ほぼ出来ている 7名、 努力が必要 7名

2-10 あなたは、季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画のなかに取り入れるようにしていますか。

項目該当者 17名

よく出来ている 6名、 ほぼ出来ている 9名、 努力が必要 2名

2-11 月・週・日案などが、実際の子どもの姿、興味・関心に合っていたかという視点から自分の保育を評価・反省していますか。

項目該当者 17名

よく出来ている 5名、 ほぼ出来ている 5名、 努力が必要 7名

2-12 月 1 回以上、自分自身の指導計画の点検・評価を行い、その結果を次の指導計画に生かしていますか。

項目該当者 18名

よく出来ている 0名、 ほぼ出来ている 8名、 努力が必要 10名

2)乳児保育

2-13 あなたは、一人ひとりの子どもの出生時の状況、その後の発育・発達など、生育歴を細かに把握するとともに、保護者の状況などの背景も理解していますか。

項目該当者 21名

よく出来ている 3名、 ほぼ出来ている 11名、 努力が必要 7名

2-14 哺乳瓶の消毒、調乳、沐浴の仕方など基本的な事柄や、子ども一人ひとりの健康状態などを、随時職員相互で確認し合っていますか。

項目該当者 19名

よく出来ている 8名、 ほぼ出来ている 8名、 努力が必要 3名

2-15 授乳について、その子が欲しがるときにやさしく抱いて微笑みかけ、ゆったりと飲ませていますか。

項目該当者 21名

よく出来ている 12名、 ほぼ出来ている 8名、 努力が必要 1名

2-16 離乳食は、家庭と連携をとりながら、一人ひとりの育ち具合やその日の体調に合うように工夫していますか。

項目該当者 21名

よく出来ている 11名、 ほぼ出来ている 8名、 努力が必要 2名

2-17 その子にとって初めての食品を食べさせたときは、皮膚や便性などに異常がないか観察していますか。

項目該当者 18名

よく出来ている 6名、 ほぼ出来ている 8名、 努力が必要 4名

2-18 おむつ交換は「きもちいいね」などやさしく声をかけたり、マッサージしたりして、排便の回数、便性を把握して臀部を清拭していますか。

項目該当者 19名

よく出来ている 12名、 ほぼ出来ている 6名、 努力が必要 1名

2-19 乳児（アンケート時は「赤ちゃん」としましたが、表題に合わせて修正します）の目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受け止め、ほほえみ、要求に応じる言葉をやさしく返していますか。

項目該当者 22名

よく出来ている 15名、 ほぼ出来ている 7名、 努力が必要 0名

2-20 子どもを外気に触れさせたり、適度な戸外遊びをさせたりして、健康増進をはかるようにしていますか。

項目該当者 20名

よく出来ている 12名、 ほぼ出来ている 8名、 努力が必要 0名

2-21 喃語には、ゆったりと応えたり、やさしく話しかけたりして、発語の意欲を育んでいますか。

項目該当者 22名

よく出来ている 13名、 ほぼ出来ている 9名、 努力が必要 0名

2-22 絵本を見せながら、その子の指さすものに答えたり、やさしい言葉を添えたりして、あなた自らもそのやり取りを楽しむことができますか。

項目該当者 21名

よく出来ている 18名、 ほぼ出来ている 3名、 努力が必要 0名

2-23 あなたがどんな状態にあるときにも、乳児（上記と同様の理由で「赤ちゃん」から「乳児」に修正）の笑顔やしぐさをかわいいと感じることができますか。

項目該当者 22名

よく出来ている 14名、 ほぼ出来ている 8名、 努力が必要 0名

2-24 あなたは、自分の服装の色合い、頭髪・爪などの清潔や、室内の清掃にも配慮していますか。

項目該当者 23名

よく出来ている 11名、 ほぼ出来ている 12名、 努力が必要 0名

2-25 寝返りができない乳児を寝かせる場合には、仰向けに寝かせるようにするとともに、睡眠中の姿勢、かけぶとん、呼吸等の確認をしていますか。

項目該当者 21名

よく出来ている 13名、 ほぼ出来ている 8名、 努力が必要 0名

2-26 一人ひとりの生活リズムや欲求、その日の体調等を把握した上で、睡眠の時間を調節したりする柔軟性を持ち合わせていますか。

項目該当者 21名

よく出来ている 11名、 ほぼ出来ている 10名、 努力が必要 0名

2-27 連絡ノートを活用するなどして、保育園以外での子どもの様子も把握するように努めていますか。

項目該当者 22名

よく出来ている 15名、 ほぼ出来ている 6名、 努力が必要 1名

3) 3歳未満児保育（1・2歳児保育）

2-28 大勢の子どもを保育するときでも、あなたを独占したがるその子の気持ちも十分に満たすなど、子どもの背景に配慮しながら、個別対応の努力や工夫ができていますか。

項目該当者 21名

よく出来ている 7名、 ほぼ出来ている 14名、 努力が必要 0名

2-29 「できない、やって！」と甘えてくるときは、その都度、その子の気持ちを受け止め、一人ひとりの発達に応じて要求を満たす援助をしていますか。

項目該当者 22名

よく出来ている 9名、 ほぼ出来ている 13名、 努力が必要 0名

2-30 あなたは子どもの「これなに？」、「どうして？」などの繰り返しの質問に、忙しいときでもできるだけその都度応えようとしていますか。

項目該当者 23名

よく出来ている 7名、 ほぼ出来ている 16名、 努力が必要 0名

2-31 探索活動が十分行えるよう、安全にはよく気を配りつつ、環境を整えたうえで、子どもが要求する行動を容認できますか。

項目該当者 24名

よく出来ている 9名、 ほぼ出来ている 13名、 努力が必要 2名

2-32 着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けやことばかけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。

項目該当者 21名

よく出来ている 7名、 ほぼ出来ている 13名、 努力が必要 1名

2-33 食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、楽しい雰囲気ですごせることを第一に考えていますか。

項目該当者 22名

よく出来ている 11名、 ほぼ出来ている 10名、 努力が必要 1名

2-34 子どもがおもちゃの取り合いなどでぶつかり合うとき、危険のないよう配慮しつつ、子どもの発達の程度や心の動きを考えながら、しばらく見守ることができますか。

項目該当者 23名

よく出来ている 7名、 ほぼ出来ている 13名、 努力が必要 3名

2-35 「おや、何だろう?」、「これで遊ぼう」と好奇心や興味を引き起こす材料や素材、場を用意する心配りをしていますか。

項目該当者 23名

よく出来ている 3名、 ほぼ出来ている 15名、 努力が必要 5名

2-36 散歩の時、保育者も一緒に楽しみながら、花や葉、虫や動物などを見つけたりして、子どもとともに自然物や動物への興味・関心を持つことを大切にしていますか。

項目該当者 19名

よく出来ている 11名、 ほぼ出来ている 8名、 努力が必要 0名

2-37 子どもと会話をするとき、その子の目線に合わせて話をゆっくり聞いて、子どもの話したい気持ちや伝わった喜びを共感していますか。

項目該当者 24名

よく出来ている 11名、 ほぼ出来ている 12名、 努力が必要 1名

2-38 あなたは、自分の表情に配慮しながら、子どもにわかるように、ゆっくり、はっきり、おだやかに、具体的な短い言葉で語りかけていますか。

項目該当者 24名

よく出来ている 6名、 ほぼ出来ている 15名、 努力が必要 3名

2-39 子どもに「絵本を読んで」、「遊んで」と言われた時に、場面に応じて「待って」と言った場合にも、その理由を伝え、その子の気持ちに答えていますか。

項目該当者 24名

よく出来ている 8名、 ほぼ出来ている 12名、 努力が必要 4名

2-40 歌を歌ったり、リズムにのって体を動かすとき、あなたは歌や動きを子どもに合わせ、一緒に楽しむことができますか。

項目該当者 22名

よく出来ている 10名、 ほぼ出来ている 12名、 努力が必要 0名

2-41 わがままで「いやだ」という子どもの内面に配慮しながら、その子の気持ちを肯定的な方向に向けるようにしていますか。

項目該当者 23名

よく出来ている 6名、 ほぼ出来ている 15名、 努力が必要 2名

2-42 自分の思いどおりにならず、おこったり泣いたりする子どもに対して、ていねいに話してきかせたり、気持ちを切り替える時間を取り、ゆったりと待つことができますか。

項目該当者 24名

よく出来ている 6名、 ほぼ出来ている 16名、 努力が必要 2名

4) 特別な配慮や支援を必要とする子ども（障害児）の保育

2-43 保育園は、障害を持つ子どもそうでない子ども「共生」「共有」の観点から、当たり前のこととして保育するという考え方にあなたは共感しますか。

項目該当者 24名

よく出来ている 15名、 ほぼ出来ている 8名、 努力が必要 1名

2-44 障害児が入園した時、安全管理や個別的対応などその子を受け入れるための保育を、積極的に進めようと考えていますか。

項目該当者 23名

よく出来ている 8名、 ほぼ出来ている 14名、 努力が必要 1名

2-45 障害児について素朴な疑問をなげかけてくる子に対して、必要に応じて障害の性質や行動の困難さなどについて、丁寧に説明していますか。

項目該当者 16名

よく出来ている 3名、 ほぼ出来ている 7名、 努力が必要 6名

2-46 あなたは、障害児もそうでない子も互いのよさを感じとり、楽しく交流できる雰囲気づくりに励んでいますか。

項目該当者 20名

よく出来ている 7名、 ほぼ出来ている 13名、 努力が必要 0名

2-47 あなたは、障害児の世話をし過ぎる子どもや、逆に無関心な子どもの存在に気づき、それへの配慮を心がけていますか。

項目該当者 18名

よく出来ている 2名、 ほぼ出来ている 11名、 努力が必要 5名

2-48 あなたは園でのケース会議で積極的に議論することにより、園内の障害児への理解を深めるように努力していますか。

項目該当者 15名

よく出来ている 2名、 ほぼ出来ている 6名、 努力が必要 7名

2-49 あなたは、障害児により適切な保育をするために、様々な専門機関等と連携をしていますか。

項目該当者 16名

よく出来ている 0名、 ほぼ出来ている 6名、 努力が必要 10名

2-50 障害児の保護者が、様々な苦しみや悩みを抱えてきていることを、触れ合うなかで感じることはありませんか

項目該当者 18名

よく出来ている 2名、 ほぼ出来ている 13名、 努力が必要 3名

2-51 日常的に障害児の保護者との話し合いの場等を設けて、不安や焦り等悩みを抱えている保護者の気持の援助に心がけていますか。

項目該当者 17名

よく出来ている 1名、 ほぼ出来ている 8名、 努力が必要 8名

2-52 就学に向けて相談する障害児の保護者に対して、保護者が自分で方向を決めていけるように相談に応じたり、情報提供をしたりしていますか。

項目該当者 15名

よく出来ている 1名、 ほぼ出来ている 5名、 努力が必要 9名

2-53 障害児を受け入れる園の方針を、健常児の保護者に理解してもらえるように努力していますか。

項目該当者 17名

よく出来ている 1名、 ほぼ出来ている 4名、 努力が必要 12名

2-54 障害児保育をより豊かなものにするために、子どもたちにふさわしい環境・物的環境（遊具等）を整えるなどの努力をしていますか。

項目該当者 19名

よく出来ている 3名、 ほぼ出来ている 5名、 努力が必要 11名

5) 行事

2-55 あなたは、園が従来から続けてきた「行事」について、その意味について十分に考えてから、保育の中に組み込んでいますか。

項目該当者 31名

よく出来ている 8名、 ほぼ出来ている 19名、 努力が必要 4名

2-56 「行事」を保育に取り入れるときには、それが子どもの健やかな育ちにつながる意味をもつことを意識していますか。

項目該当者 32名

よく出来ている 10名、 ほぼ出来ている 18名、 努力が必要 4名

2-57 みんなで楽しむとともに、一人ひとりが十分に自分の力を発揮できるような「行事」となっていますか。

項目該当者 30名

よく出来ている 11名、 ほぼ出来ている 12名、 努力が必要 7名

2-58 あなたは、子ども達にとってその季節や時期にしか味わえない有意義な体験となるよう「行事」に工夫を凝らしていますか。

項目該当者 28名

よく出来ている 9名、 ほぼ出来ている 14名、 努力が必要 5名

2-59 子ども達が期待を持って「行事」に参加できるよう、年間計画の段階から子どもの主体性を尊重する保育場面を用意していますか。

項目該当者 24名

よく出来ている 5名、 ほぼ出来ている 10名、 努力が必要 9名

2-60 「行事」に参加することを嫌がる子どもには、その気持ちをくみ取って、行事の中でその子が活動できる場面を用意していますか。

項目該当者 27名

よく出来ている 6名、 ほぼ出来ている 15名、 努力が必要 6名

2-61 保護者が参観する「行事」のときには、保護者の評価にあまりとらわれず、日常の子どものありのままを見てもらう気持ちのゆとりをもっていますか。

項目該当者 31名

よく出来ている 12名、 ほぼ出来ている 12名、 努力が必要 7名

2-62 あなたは、「行事」が、子どもの生活や遊びから発展していくように、日常の保育の積み重ねの結果となるよう心がけていますか。

項目該当者 31名

よく出来ている 5名、 ほぼ出来ている 19名、 努力が必要 7名

2-63 保護者や地域住民にも参加してもらうような「行事」については、園だよりや広報紙等で事前にその趣旨を説明し、理解や協力を要請していますか。

項目該当者 24名

よく出来ている 5名、 ほぼ出来ている 10名、 努力が必要 9名

2-64 子どもも保護者も期待感を持つ「行事」には、あなた自らも喜んで、余裕をもって参加できていますか。

項目該当者 33名

よく出来ている 10名、 ほぼ出来ている 18名、 努力が必要 5名

6) 延長保育

2-65 長時間にわたる保育を受ける子どもには、特に畳やカーペットで寝転ぶことができるようにするなど、家庭的雰囲気配慮していますか。

項目該当者 20名

よく出来ている 3名、 ほぼ出来ている 8名、 努力が必要 9名

2-66 次々にお迎えが来るなかで、「ママ来ないね」のつぶやきに対して、その子の気持ちを受け止めて、安定した気持ちで待つことができるような適切な対応をしていますか。

項目該当者 23名

よく出来ている 8名、 ほぼ出来ている 12名、 努力が必要 3名

2-67 あなたは延長保育で、一人ひとりが好きな遊びができるように配慮していますか。

項目該当者 25名

よく出来ている 6名、 ほぼ出来ている 12名、 努力が必要 7名

2-68 延長保育の子どもには、担任でなくても、園での様子が保護者に十分伝わるよう、連絡ノートやおたよりを活用していますか。

項目該当者 21名

よく出来ている 4名、 ほぼ出来ている 11名、 努力が必要 6名

2-69 延長保育の時間帯には、とりわけ異年齢の子ども同士で遊べるような工夫をしていますか。

項目該当者 24名

よく出来ている 5名、 ほぼ出来ている 16名、 努力が必要 3名

3 保健活動・安全管理

3-1 身長・体重等の測定や医師の診断から、発育・発達の状態を把握して、それを保護者や他の職員に伝えるとともに、日常の保育に生かしていますか。

項目該当者 24名

よく出来ている 5名、 ほぼ出来ている 10名、 努力が必要 9名

3-2 その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために、日常的な体調や機嫌の状態をつかむよう努めていますか。

項目該当者 31名

よく出来ている 14名、 ほぼ出来ている 16名、 努力が必要 1名

3-3 あなたは、子どもに何らかの異常が見つかった場合、より適切な処置ができるように、嘱託医の指導を受けるなど日頃から学習をしていますか。

項目該当者 28名

よく出来ている 1名、 ほぼ出来ている 7名、 努力が必要 20名

3-4 あなたは、健康観察で子どもの健康状態をある程度判断することができますか。

項目該当者 32名

よく出来ている 6名、 ほぼ出来ている 21名、 努力が必要 5名

3-5 子ども一人ひとりの体調をしっかり把握し、食事の量や内容を変えるなどの配慮をしていますか。

項目該当者 28名

よく出来ている 8名、 ほぼ出来ている 17名、 努力が必要 3名

3-6 あなたは、睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めていますか。

項目該当者 29名

よく出来ている 10名、 ほぼ出来ている 16名、 努力が必要 3名

3-7 アトピー性皮膚炎・食物アレルギー等の子どもに対して、医師の指導のもとに適切な対応をしていますか。

項目該当者 30名

よく出来ている 12名、 ほぼ出来ている 13名、 努力が必要 5名

3-8 あなたは、日頃から虐待の早期発見を心がけ、虐待が疑われる場合には、園長に伝えるなどの防止策を考えていますか。

項目該当者 31名

よく出来ている 9名、 ほぼ出来ている 16名、 努力が必要 6名

3-9 備品棚やピアノなどの転倒防止、その他事故が起こらないように、あなたの保育室内外の安全点検を、毎日怠らないように努めていますか。

項目該当者 30名

よく出来ている 9名、 ほぼ出来ている 12名、 努力が必要 9名

3-10 園庭にガラスの破片など危険なものがないか調べたり、砂場を掘り起こして整えるなど、安全な環境づくりの努力をしていますか。

項目該当者 29名

よく出来ている 4名、 ほぼ出来ている 16名、 努力が必要 9名

3-11 地震等の災害や火災に備え、積極的に避難訓練等に参加し、非常災害時にあなたが何をしなければならぬか理解していますか。

項目該当者 34名

よく出来ている 9名、 ほぼ出来ている 21名、 努力が必要 4名

3-12 登降園時の事故防止について、保護者が何を注意すればよいか、あなた自身が説明することができますか。

項目該当者 30名

よく出来ている 4名、 ほぼ出来ている 18名、 努力が必要 8名

3-13 そのまま見過ごしたら明らかに危険な行動には、理由を説明して「いけません」、「やめなさい」などの言葉ではっきりと制止していますか。

項目該当者 35名

よく出来ている 17名、 ほぼ出来ている 15名、 努力が必要 3名

3-14 不審者が侵入した場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を日頃から心がけ、職員間で話し合っていますか。

項目該当者 32名

よく出来ている 6名、 ほぼ出来ている 15名、 努力が必要 11名

4 保護者・地域社会・関係機関との連携

4-1 園での様子を伝え家庭での様子を聞くなかで、子どもの育ちを保護者とともに、考え、喜び合うことができますか。

項目該当者 28名

よく出来ている 15名、 ほぼ出来ている 10名、 努力が必要 3名

4-2 その日の子どもの健康状態や興味を持った遊びなど、必要に応じてお迎え時に保護者に丁寧伝えるように努めていますか。

項目該当者 23名

よく出来ている 12名、 ほぼ出来ている 10名、 努力が必要 1名

4-3 保護者から突然、お迎えが遅くなると連絡があった時にも、快く応対するよう努めていますか。

項目該当者 27名

よく出来ている 16名、 ほぼ出来ている 11名、 努力が必要 0名

4-4 保護者が育児の悩みや心配事を話してみたくなり、一緒に考えてくれる存在であると思えるよう、あなたはこちらからすすんで触れ合うことを心がけていますか。

項目該当者 27名

よく出来ている 13名、 ほぼ出来ている 7名、 努力が必要 7名

4-5 たとえあなたの保育に批判的な保護者であっても、対立せずに受容し、意見や要求を聞く姿勢が持てますか。

項目該当者 28名

よく出来ている 12名、 ほぼ出来ている 11名、 努力が必要 5名

4-6 あなたは、保育に関する保護者の考えや提案を積極的に聞き、保育の流れの中で適切と思うものについては、園長等と話し合ったうえで受け入れるよう努めていますか。

項目該当者 25名

よく出来ている 9名、 ほぼ出来ている 21名、 努力が必要 5名

4-7 保育園が、保育参観だけでなく時には保護者に保育参加（保育に直接加わる）をしてもらう方針を決めた場合、協力できますか。

項目該当者 32名

よく出来ている 13名、 ほぼ出来ている 14名、 努力が必要 5名

4-8 あなたは、連絡帳を、保護者がその内容をよく理解でき、楽しみにするような書き方をしていますか。

項目該当者 32名

よく出来ている 13名、 ほぼ出来ている 15名、 努力が必要 4名

4-9 保護者同士が相談相手になれるよう、お互いをよく知り合う機会を多く設ける努力をしていますか。

項目該当者 23名

よく出来ている 0名、 ほぼ出来ている 7名、 努力が必要 16名

4-10 地域の人たちによるボランティア活動などをどのように保育に組み入れたらよいか、職員間で話し合うとともに、あなた自身もきちんとした見通しを持っていますか。

項目該当者 24名

よく出来ている 0名、 ほぼ出来ている 4名、 努力が必要 20名

4-11 老人会、町内会など地域組織と連携するとき、保育士としてどういう役割を担うべきか、考えたことがありますか。

項目該当者 25名

よく出来ている 1名、 ほぼ出来ている 4名、 努力が必要 20名

4-12 放課後遊びに来る学童や卒園児にも、園の子どもと一緒に仲間に入って楽しく遊べるような配慮をしていますか。

項目該当者 26名

よく出来ている 2名、 ほぼ出来ている 7名、 努力が必要 17名

4-13 あなたは、保育園が地域の中学・高校の生徒との交流をしたり、実習生を受け入れるときに、めんどうがらずに指導することができますか。

項目該当者 29名

よく出来ている 13名、 ほぼ出来ている 11名、 努力が必要 5名

4-14 散歩や行事などで、子どもたちが地域の人々と触れ合う機会を持つようにするとともに、気持ちよくあいさつをかわしていますか。

項目該当者 31名

よく出来ている 16名、 ほぼ出来ている 15名、 努力が必要 0名

4-15 地元の公共機関を利用するなど、地域の人々にかわいがられて、子ども達が豊富な社会体験を得られるようにしていますか。

項目該当者 23名

よく出来ている 4名、 ほぼ出来ている 10名、 努力が必要 9名

4-16 公園などの公共の場を使用した後は、あなたは子どもたちと一緒に清掃するなど、気を配っていますか。

項目該当者 21名

よく出来ている 2名、 ほぼ出来ている 7名、 努力が必要 12名

4-17 あなたは言葉が通じない外国人に、尻込みしないで身ぶり手ぶりでも対応できますか。

項目該当者 32名

よく出来ている 5名、 ほぼ出来ている 13名、 努力が必要 14名

5 地域の子育て支援

5-1 あなたは、日頃の保育内容、子どもたちへの保育方法のすべてが、地域の子育て支援につながることを自覚していますか。

項目該当者 31名

よく出来ている 7名、 ほぼ出来ている 18名、 努力が必要 6名

5-2 あなたは、保育園には子育て相談などの「地域の子育て支援」という役割が求められていることを受け止め、自分も積極的にかかわりたいと考えていますか。

項目該当者 31名

よく出来ている 10名、 ほぼ出来ている 16名、 努力が必要 5名

5-3 あなたは、相談の基本原則（受容・相互信頼関係・個別性・自己決定・秘密保持）について理解し、子育て相談の実践に生かしたいと考えていますか。

項目該当者 29名

よく出来ている 11名、 ほぼ出来ている 11名、 努力が必要 7名

5-4 あなたは、本来業務の保育に支障がない限り、電話相談などの子育て支援を行いたいと思いますか。

項目該当者 26名

よく出来ている 7名、 ほぼ出来ている 11名、 努力が必要 8名

5-5 あなたは、子育て相談を実施する際に連携すべき機関等（保健センター・児童相談所・福祉事務所・医療機関等）の機能についてよく知っていますか。

項目該当者 29名

よく出来ている 1名、 ほぼ出来ている 15名、 努力が必要 13名

5-6 あなたは、子育てサークル・子育てボランティアの育成・支援に関心があり、勤務園が実施するときには、協力するつもりですか。

項目該当者 30名

よく出来ている 7名、 ほぼ出来ている 18名、 努力が必要 5名

5-7 保育園が発信元になって、園の保護者以外にも子育ての大切さや喜びを伝える役割を担っていることを理解していますか。

項目該当者 32名

よく出来ている 13名、 ほぼ出来ている 13名、 努力が必要 6名

6 保育園の職務・役割分担

6-1 園長や主任の指示がどういう意図で出されているかわからないとき、あなたは質問をしたり意見を言ったりできますか。

項目該当者 34名

よく出来ている 7名、 ほぼ出来ている 17名、 努力が必要 10名

6-2 園長や主任などと意見が合わないとき、十分に話し合ったうえで、あなたは上司の指示に従うことができますか。

項目該当者 34名

よく出来ている 14名、 ほぼ出来ている 12名、 努力が必要 8名

6-3 登園を嫌がるが続くなど、問題を感じたとき、あなたは園長や主任、先輩保育士などに、その原因や対策のしかたを相談していますか。

項目該当者 27名

よく出来ている 9名、 ほぼ出来ている 14名、 努力が必要 4名

6-4 あなたは、職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言することができますか。

項目該当者 30名

よく出来ている 6名、 ほぼ出来ている 14名、 努力が必要 10名

6-5 職員会議で自分の意見や考えと違う結論が出たときも、それに従って気持ちよく協力し、実行できますか。

項目該当者 30名

よく出来ている 13名、 ほぼ出来ている 14名、 努力が必要 3名

6-6 栄養士など保育士以外の職種の人たちが保育にかかわるとき、その人たちへの気配りや協力関係に配慮するとともに、保育士としてのあなたの役割がなんであるか理解していますか。

項目該当者 31名

よく出来ている 13名、 ほぼ出来ている 16名、 努力が必要 2名

6-7 あなたは、保育士として、他の職種の職員やパートの人たちにどんな役割を果たしてほしいか、具体的な期待をもっていますか。

項目該当者 30名

よく出来ている 5名、 ほぼ出来ている 19名、 努力が必要 6名

6-8 あなたは、欠勤した日の出来事や連絡・注意事項は、自分から尋ねて理解するなど、職員間の連携に努めていますか。

項目該当者 33名

よく出来ている 16名、 ほぼ出来ている 12名、 努力が必要 5名

6-9 あなたは、自分のクラスの教材や備品を、責任をもって毎日点検・管理していますか。

項目該当者 30名

よく出来ている 6名、 ほぼ出来ている 9名、 努力が必要 15名

6-10 あなたは、たとえ自分のクラスのものでなくても、教材・教具などの管理が不備であれば、自らすすんで整えることができますか。

項目該当者 32名

よく出来ている 4名、 ほぼ出来ている 12名、 努力が必要 16名

6-11 あなたの本来の業務以外に保育園にかかわる仕事を頼まれたとき、それも職務の一端と考え、責任をもって引き受けていますか。

項目該当者 33名

よく出来ている 13名、 ほぼ出来ている 19名、 努力が必要 1名

7 保育士としての資質向上（研修・研究活動）

7-1 あなたは、保育士としての責務と誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めていますか。

項目該当者 33名

よく出来ている 11名、 ほぼ出来ている 19名、 努力が必要 3名

7-2 あなたは、自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つけることができますか。

項目該当者 34名

よく出来ている 12名、 ほぼ出来ている 19名、 努力が必要 3名

7-3 自分の保育に対する同僚や上司からの批評や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができますか。

項目該当者 32名

よく出来ている 12名、 ほぼ出来ている 20名、 努力が必要 0名

7-4 保育をする中で生じた疑問や悩みを、同僚や上司にわかるように説明することができますか。

項目該当者 34名

よく出来ている 13名、 ほぼ出来ている 13名、 努力が必要 8名

7-5 あなたは、その日の子ども一人ひとりの活動や姿を、しっかり記録に留めることができますか。

項目該当者 28名

よく出来ている 2名、 ほぼ出来ている 20名、 努力が必要 6名

7-6 あなたは、どのような子どもについても、一人ひとりの課題をみつけ、ケーススタディーをすることができますか。

項目該当者 28名

よく出来ている 2名、 ほぼ出来ている 17名、 努力が必要 9名

7-7 あなたは、保育の悩みや疑問を解決するために、研究・専門書を見つけて、そこから学ぶことができますか。

項目該当者 30名

よく出来ている 4名、 ほぼ出来ている 15名、 努力が必要 21名

7-8 あなたは、他のクラスの保育について、疑問や感想・意見を、お互いの向上のために、言葉に配慮しながら素直に述べることができますか。

項目該当者 30名

よく出来ている 4名、 ほぼ出来ている 14名、 努力が必要 12名

7-9 あなたは研修で得た内容・成果は、園の職員にわかるように丁寧に説明し、意見交換をするために役立てていますか。

項目該当者 32名

よく出来ている 5名、 ほぼ出来ている 16名、 努力が必要 11名

7-10 あなたは、積極的に研究グループやサークルに参加して独自に勉強していますか。

項目該当者 30名

よく出来ている 0名、 ほぼ出来ている 5名、 努力が必要 25名

7-11 あなたは、研修会の機会があれば、自費でも参加したいと思いますか。

項目該当者 32名

よく出来ている 6名、 ほぼ出来ている 13名、 努力が必要 13名

7-12 あなたの保育実践について、園長はじめ他の職員が把握できる保育日誌などの記録が書けていますか。

項目該当者 19名

よく出来ている 5名、 ほぼ出来ている 10名、 努力が必要 4名

II. 総評と総括

集計後、施設長及び管理者によってなされた総括と総評は以下の通りである。

1. 総評

1) 幼稚園としてはじめての「保育内容等の自己評価」を行った。チェックリストへの記入を依頼した全員の保育士が質問に答え、提出してくれた。

2) チェック内容と記入欄は、既に同様の自己評価を行っている保育所等の事例を参照しつつ、「良く出来ている」、「ほぼできている」、「努力が必要」の選択式とした。記入欄の選択肢は、自己評価が保育内容や保育環境の改善を目的としていることもあり、職員の改善努力を適切に促すものでありたいと考え、このようなものとしたが、職員の意識や抱えている課題を共有するために有効であったと考える。

3) どの項目でも「よく出来ている」と答えたのは、比較的保育所職員としての勤務年数が短い者が多く、「ほぼできている」と答えたのは、勤務年数の長い者であった。その理由は、経験を積むことによって、自らの職務により慎重になり、多くの課題を認識しているためだと感じた。

4) チェック内容が自らの職務に該当しないと判断した場合には、番号に斜線を引くように指示されているが、当然該当すると思われる質問に答えていない場合もあり、今後の記入方法について再検討したい。

2. 保育の理念・保育観

保育の理念・保育観については、本年度から年に3回（昨年度までは1回）の全員出席の研修日に繰り返し行ってきた。さらに、「保育所保育指針」を用いての研修も同様であるが、「保育所保育指針」を常に参照して保育を行う習慣を徹底し、身に着ける必要性が読み取れる。既に全職員に改訂された「保育所保育指針」は配布済みであるので、機会あるごとに、また個々の保育の課題を論じる際に、該当箇所を確認するようにしたい。

特に今回のチェック内容から顕著なことは「保育所保育指針」の改訂された部分、近年強調されている地域との連携、擁護と教育の一体化、多様性を受け入れる保育等については既に取り組みを始めている部分もあるが、さらに多くの努力が必要であることが読み取れる。

子どもに身体的苦痛を与えたり、人格を辱めるなどの精神的苦痛を与えることがないようになっているか、という問い(1-9)への回答において、「よく出来ている」が多数で、他は「ほぼ出来ている」であり、「努力が必要」という意見はなかったが、「あなたは、日頃から虐待の早期発見を心がけ、虐待が疑われる場合には、園長に伝えるなどの防止策を考えていますか」(3-8)という問いには、「よく出来ている」が9名に対して、「ほぼ出来ている」が16名であり、「努力が必要」も6名であったことを重く受け止め、今年度は既に2回の虐待に関する研修、不適切な保育についてのチェックリストによる自己点検を複数回行ってき

たが、さらに、通報や問題の共有について改善を試みる必要があることを認識した。

3. 保育の内容

保育所の方針は「よく祈り、よく遊び、よく食べる」というモットーのもとに、「キリスト教の保育」、「保育内容」、「食育」の三本柱を展開することになっているが、この課題を踏まえ、適切に年間、月、週、毎日の保育計画を立て、担当職員、管理者が共有することの重要性を改めて認識した。この点にみな苦勞している様子が各回答からうかがわれる。各職員が、より正確に保育所としての保育方針を理解すること、そのために、管理者が適切な説明と指導を行うこと、それを保護者にも正確に、適切な方法で説明し、共有することがさらに必要であることが読み取れる。

各年齢の保育内容については、おおむね適切に展開されていることが読み取れる。ただし、行事には、保育の中でさまざまな準備が必要となるが、回答全体から、行事内容についての職員の認識の共有、保護者への説明、行事内容の報告などをさらに丁寧に行う必要性を読み取った。

4. 延長保育

延長保育は、子どもたちにとっても、一日の園の生活の中でもっとも疲れを感じ、また保護者のお迎えを待つ中で不安や寂しさを感じる時間であることを認識し、より適切な保育が行われるように今年度当初から努力してきた課題であった。

その中で、4月から長時間保育の検討を行ってきた。理由のひとつは、コロナ対応である。加須市より、陽性者が出た場合の対応が、園全体の休園ではなく、クラス別のクラス閉鎖という対応をするようにという指示が改めてあったことを受け、長時間でも、クラスを混合すると全クラスのクラス閉鎖となってしまう可能性が高くなるので、クラス別の長時間保育を試みてみた。また既に述べた通り、長時間の最後の時間は一日の終わりで子どもたちは疲れ、不安になり、また早く家に帰りたいという思いの中で、懸命に生活している。楽しく遊べる場合もあるが、喧嘩やおもちゃの取り合い、子ども同士の否定的な争いが起こるのもこの時間である。そのため、この緊張と不安をどのように取り除き、少しでも健やかで楽しい時間になるように、担当者や、子どものグループ、担当する保育士の交代なども試みてきた。

その中で今回のチェック内容にもあるように、各クラスの担当保育士と、延長保育を利用される保護者との連絡やコミュニケーションの方法を今後もさらに継続して検討すべきであることが読み取れる。

5. 保健活動・安全管理

安全面については、常日頃より職員会議、年齢ごとの会議などを通して、確認合っている課題である。今年度は特に、人数確認について改めて徹底することを課題としてきた。また、老朽化している園内の中で、危険個所がないように、また危険な遊具等がないように注

意を払ってきた。しかし、他方で、今年度保育室ではないが、玄関付近の掲示板などで画鋸が使われていたこと、また敷地内の工事に際して、危険な状況が生じていたことなども指摘されており、なお一層の努力が必要な課題であることがここからも読み取れる。

6. 保護者・地域社会・関係機関との連携

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、保育所としてもっとも困難を覚えたのがこの問題であった。保護者との連絡方法は一律ではなく、それぞれの家庭に応じて多様な方法でおこなうべきであり、今回 HP や園-Renraku などの仕組みを利用した連絡方法も新たに導入した。変更後の様子を見守りたい。

実習生の受け入れは再開した。実習は将来の保育士に機会を提供する場であるばかりではなく、保育所の保育について違った視点から見つめる機会でもあるので、積極的に行いたい。

地域社会、また法人内の高齢者施設との交流なども、可能な限り早く再開すべきだと考えた。また小学校との連携についても、幼小小連携が大きな課題となっていることに鑑みて、できるだけ早く再開したい。

また保護者が自由に保育を参観することは、保育内容の相互理解、また透明化の上でも、積極的に行うべきだと考えている。ここ数年のコロナ対策の中で、保護者が園の保育に接するのは、登降園時や行事の一部に限られてしまっていたので、保育内容や保育の様子を一日トータルに見ていただく機会を増やし、保育内容や方針の共有や理解に一層の努力を続けるべきだと考えた。この点については、新型コロナウイルスの感染拡大が収束に向かった時点で、早急に再開したい。

また保護者からの声を積極的に聞き取ることの必要性を感じた。既に意見箱や第三委員の設置などは行われているが、保育所として、積極的に対話を重ねる機会をより多くつくるべきである。新型コロナウイルスの感染拡大のために、極端に縮小化している保護者との面談やさまざまな説明会をできるだけ早く再開することが職員にとっても、保護者、何よりも園児にとって最大の利益となると考える。

7. 地域の子育て支援

地域の子育て支援については、幼稚園と並行して運営されている学童、また法人内の地域子育て支援事業との連携のもとに行われている。保育所としての課題の連携機関、地域との情報や課題の共有が必要であることを読み取った。

8. 保育園の職務・役割分担

職員間の情報共有、また管理者と職員との適切な関係のもとでの指導や話し合いの必要性を認識し、定期的な面談、また必要に応じての面談や相談を行ってきた。要望があった場合、あるいは定期的な面談だけではなく、管理者側からの積極的な声掛けや問題の共有が必

要であることを読み取った。

また職員会議の適切な運営も必要である。現在、幼稚園の職員会議では、行事の検討、法人からの伝達事項などの報告、保育に必要な問題についての検討、利用者に関する情報の共有などを行っている。その他、管理者と各リーダーによる運営会議を行い、現場の問題を聞き取り、共有し、検討する会議を行っている。前者がトップダウンの会議であり、後者はボトムアップの会議である。しかしいずれの会議にも両者の機能を持たせる必要性を今回の回答から読み取った。

また、チェック内容に該当しないと答えた多くの職員は非常勤職員であり、園の運営や情報の共有に、常勤職員と非常勤職員との間に差異がないように、また個人情報については十分に配慮するように努力したい。

9. 保育士としての資質向上（研修・研究活動）

この問題についても新型コロナウイルス感染拡大の中で、制限されてきたが、今後の早い段階での研修などへの積極的な参加が可能になることを願っている。他方で、今年度は、園内で、3回にわたる全職員での一日研修を行っている。各職員が、自らのスキルアップのために、与えられた職務に誠実であるために、前向きな努力を重ねてきていることを確認した。今後も努力を続けたい。

III. 次年度へ向けての改善計画等

チェックリストの集計後、施設長、副施設長、保育主任、主任補佐、事務長によってなされた総括と総評に基づき、次年度に向けて施設全体で取り組むべき課題、改善目標として全職員で共有した内容は以下の通りである。

- 1) 保育所としての保育目標や方針の説明を適切で、明瞭な文章で作成し、全職員、保護者、地域と共有する。
- 2) 創設者であるG・E・キョックリヒ女史の保育観の継承、保育所保育指針の正確な理解に関する研鑽を続ける。
- 3) 虐待や不適な保育はあってはならないことであり、職員一人一人が自覚をもって保育を行う。そのための研修はもちろん、問題が発生した場合の対応、透明性のある説明などを今後も徹底する。
- 4) 新型コロナウイルスの感染状況に十分に配慮しながら、地域社会や保護者との連携を再開し、これまで以上に強化する。
- 5) 社会、個人、集団の多様性を意識し、個々人の尊厳、子どもの権利を尊重する保育を徹底する。
- 6) 次年度行う自己評価で、上記の点について、全職員が改めて自己点検できるように工夫する。